

平成21年3月19日

日本学術会議 科学者委員会  
学術の大型研究計画検討分科会  
委員長 岩澤 康裕

## 学術の大型研究計画に関する調査

### 第1回：大型研究施設(装置、設備等を含む)計画について

#### 本調査の目的

学術の大型研究計画検討分科会は、学術研究を推進するに当たり、大型の施設を必要とする計画、多数の研究者の長期にわたる共同を必要とする計画、膨大なデータ集積が必要な計画など、多額の経費が必要とされ、また多分野の協調や国際的協力の枠組み等が求められる学術の大型研究計画について、長期的かつ俯瞰的な視点から、我が国における企画・推進方策の在り方や、それらの方策を実現するためのシステムの構築に向けた検討を行うことを目的に、平成20年10月に科学者委員会の下に設置されました。

本分科会では、今後の検討の基礎資料とするため、現在計画中の学術研究計画の事例の収集・把握を行うことを目的に調査を実施することとしております。

そのため、今回は、その第1段階として、大型の研究施設(装置、設備等を含む)を対象に調査を行うものです。なお、今後、第2回の調査として、多数の研究者の長期にわたる計画的共同を必要とする研究、膨大なデータ集積が必要な研究等に係る調査を行うこととしております。

#### 1. 調査結果の取扱い等について

今回の調査結果は、国際対応も含め今後の方策・体制等を検討する基礎資料として利用するものであり、予算への反映等に利用するものではありません。

ただし、今後、国際的な場面(G8関係等)等において、大型研究計画に関する情報交換や議論が行われる可能性もあり、優劣等の判断につながらないように十分に配慮した上で、基本的な情報に限って利用する可能性があります。

なお、本調査結果については、個票を直接公開することはありません。

#### 2. 今回の調査対象

総額、数十億円以上(装置、設備等を含む建設費。運営費は除く)の大型研究施設の計画。

3. 調査項目(研究計画毎(一件一様式)で作成してください。)

(1) 計画のタイトル[英文があれば併記] (2行以内程度)
(2) 計画の概要 (簡潔な目標と、主に施設に係わる具体計画、予算規模 等) (10行以内程度)
(3) 科学的な意義 (期待される科学的成果、さまざまな効果を明確に) (10行以内程度)

(4) 主な実施機関（実施の中心となる機関名とその役割）（5行以内程度）

(5) 実行組織（計画責任者および実行グループの主要メンバーの所属、役割等。進んだ段階にある場合は、主な実施機関とコミュニティにおける実行組織の概要。ただし、国際協力・国際共同については次項）（10行以内程度）

(6) 国際協力・国際共同（協力・共同の形態、想定される日本の役割、現在の国際的状況、建設時および完成後の協力・共同の体制、その他海外動向など）  
（10行以内程度）

(7) 準備状況（現在計画がどの段階にあるかを、①中心メンバーによる企画段階、②研究者グループの具体的検討による企画書段階、③一定の準備資金（明記の事）を得ての技術開発等開発・準備段階、④計画の全容が定まり予算要求段階、などの段階を明記の上、コミュニティの合意状況も含めて準備の現状を具体的に記述）（10行以内程度）

(8) タイムスケジュール(いつ頃までの実現を期待しているか、現状とスケジュールの根拠を明示) (10行以内程度)

(9) 計画における国際協力・国際共同の重要性と問題点 ((6)の記述を踏まえ、この計画における国際的な協力・共同の枠組みの重要性、ユニークさ、問題点や今後の課題などを簡潔に) (10行以内程度)

(10) 回答を頂いた方(代表者)の連絡先

お名前:

ご所属:

ご連絡先:

E-mail アドレス: